

沖縄の防災を考える

平成29年度  
災害危機管理シンポジウム

# 沖縄 震度7



沿岸部津波で壊滅

もしもの時、あなたはどうしますか？

## 開催趣旨：

沖縄県に来県する外国人観光客は、クルーズ船の寄港や那覇空港週間就航便数の増加に伴い、年間200万人を越え、増加の一途をたどっています。さらに、県内の在住外国人数は1万4,000人を越えその国籍も116カ国に及ぶなど、地域住民と居住する外国人の背景は多様化する傾向にあります。

このような環境の中、島嶼地域である沖縄県で大規模災害が発災した場合には、どのような対応がとれるのか。もし島が孤立し、しばらくの間、他県からの応援が得られないとすると我々はどのようなことに備えるべきなのか。そして、災害時における地域住民及び外国人の支援体制をどのように整備すべきなのか。

本シンポジウムでは、平時からのソフト防災の環境整備に向けて関係機関の協働態勢を構築すると共に、避難所運営ゲームを通して挙げられる課題や対応策を協議していきます。

日時：平成30年1月11日（木）

9:30 ~ 17:00（受付9:15~）

場所：沖縄産業支援センター大ホール

講演 佐藤 一男氏（防災士）

岩手県陸前高田市米崎小学校体育館

避難所元運営役員

\*講演の他、参加者による避難所運営ゲーム（HUG）を実施します

写真：仙台市提供



主催：（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 共催：（一財）沖縄観光コンベンションビューロー・那覇市消防局  
実施内容及び参加申し込み方法は、ホームページ(<http://kokusai.oihf.or.jp>)でご確認ください。